

「磐梯の教育」 0-15教育基本構想

新しい「磐梯の教育」について

磐梯町教育委員会 教育長 高梨哲夫

「磐梯の教育」につきましては、令和4年11月に2年間議論を重ねた磐梯町教育・保育施設再編整備基本構想策定会議から提出された答申を受け、令和5年4月に設置された「磐梯の教育再デザイン構想委員会」で0才から15才の教育方針について検討し、令和6年2月に答申を受けました。それを受けて令和6年4月に新しい組織で「教育再デザインセンター」を立ち上げ、新しい「磐梯の教育」について検討し、教職員や町民の皆様のご意見を反映させて、令和6年9月に「磐梯の教育」0-15教育基本構想（以下教育基本構想）を策定しました。
この教育基本構想で掲げられました『基本理念』でもある「多様性と包摂性があたりまえにある世界を子どもと大人でつくる」は、これからの磐梯町の教育をよりよいものとしていく際の揺るぎない指針となります。これまでと変わるところは、磐梯町の保育所・幼稚園・小学校・中学校が共通した『基本理念』のもとに教育を受けて、0才から15才での連続した学びの環境をより高めることです。
今後は、教育基本構想をもとに『新しい「磐梯の教育」』を策定して、令和7年度から導入し実践してまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

あたらしい
「ばんだいの
きょういく」

基本理念

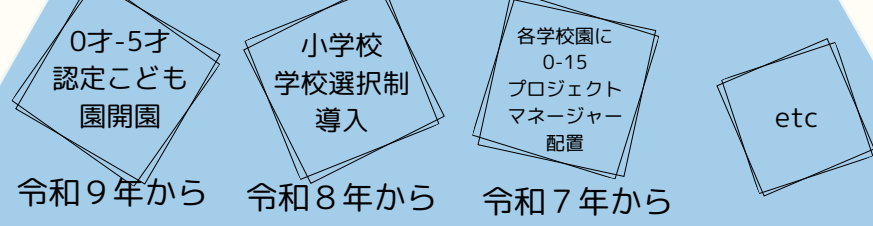
多様性と包摂性が
あたりまえにある世界を
子どもと大人でつくる

磐梯町の教育で大切にすること

子どもも大人も
多様性と包摂性の中で
生活する

子どもが自分に合った
「学び方」や「学びの環境」を
選ぶことができる

大人も
「おらが町の学校」を
つくりながら学ぶ



「磐梯の教育」0-15教育基本構想
全文



磐梯町の学校園が共通して大切にすること

共生

公正

自治

とことんどっぷり
多様性と包摂性の中で
楽しく生きる

自由と責任をもって
それぞれのウェルビーイング※を
尊重する

自分が動くと世界は変わる
という実感を持ち
自分たちの居場所を
自分たちでつくる

※ 身体的・精神的・社会的・（経済的）に良好でみたされた状態であること

各学校園が大切にすること

じぶんでえらぶ
じぶんをつたえる
だれかをつくる

保育所・幼稚園
認定こども園

- 具体的に取り組むこと
- チーム保育
 - 異年齢保育
 - サークル対話
 - コーナー保育
 - 量を選択できるランチ

協働
(承認と協力)
追求
(夢中になれること)
自律
(選択と決定)

第一小学校

- 具体的に取り組むこと
- 小グループによる協働的な学び
 - 体験活動と交流活動
 - 授業のユニバーサルデザイン

自己を拓き
共に生きる
社会性の高い子ども

第二小学校

- 具体的に取り組むこと
- 異年齢学級での学び
 - 自由進度学習

夢を語り
「夢の実現」に
向かって努力する
生徒の育成

中学校

- 具体的に取り組むこと
- 地域とかがわりつながる地域探究活動
 - 自己マネジメント力の育成

共通して取り組むこと

対話

対話